

第六分科会(新しい視点に立った国際的展開)の検討の進め方(案)

平成11年9月10日

- ・各回とも、基礎資料は、関係省庁の協力を得て事務局が準備。

第1回(9月10日(金)14:00~16:30)

- 新しい長計策定に係る概要説明
- これまでの検討の紹介
 - ・予備的検討に関する調査報告書
 - ・国際協力専門部会報告書、現行長計の関連部分、分科会報告書
- 国際協力推進の理念
 - ・包括的・戦略的な政策の展開、多様な政策手段の活用
- 今後の分科会の検討のスケジュール及び進め方について

第2回(10月7日(木)10:00~12:30)

- 最近の国際情勢に対する認識
 - ・原子力を巡る各国の動向(欧米、アジア地域、旧ソ連、中・東欧諸国)
 - ・地球温暖化問題に関する動向
 - ・世界の核不拡散、核軍縮の動向
- 我が国の原子力分野における国際的対応の地域的展開について
 - ・アジア地域における対応のあり方

第3回(11月11日(木)10:00~12:30)

- 我が国の原子力分野における国際的対応の地域的展開について
 - ・米国との対応のあり方
 - ・欧州との対応のあり方
 - ・旧ソ連との対応のあり方
 - ・中欧との対応のあり方

第4回(12月10日(金)14:00~16:30)

- 核不拡散に資する国際協力
 - ・国際的な核不拡散体制強化への対応(NPT再検討会議、カットオフ条約等)
 - ・核不拡散・核軍縮に資する我が国技術の活用方策(余剰兵器プルトニウム管理・処分への協力等)
 - ・今後の保障措置のあり方
 - ・研究開発(核不拡散抵抗性の高い技術、核物質管理・核物質計量技術等)
- 国際機関の活用の方途(IAEA、OECD/NEA等)
 - ・原子力発電の理解増進、バックエンド対策の推進
 - ・余剰兵器プルトニウムのIAEAによる検証体制の確立
 - ・国際機関の行う安全確保、原子力損害賠償制度整備のための活動支援
 - ・人的貢献を通じた国際機関の活用
 - ・IAEA、OECD/NEA以外の国際機関との連携・協力

第5回（2月下旬）

- 我が国の主要な原子力活動に係る国際的取組等
 - ・ プルトニウム利用政策に対する国際的な理解の増進
 - ・ 使用済燃料再処理・管理を巡る対応
 - ・ 放射性廃棄物処理・処分に関する協力の推進
 - ・ 国際輸送の円滑な実施
 - ・ 原子力安全に関する協力の推進
 - ・ 研究開発協力（高速増殖炉関連技術、先端的研究開発、放射線利用、核融合研究開発）推進
- 分科会報告書骨子（案）について

第6回（3月下旬）

- 原子力平和利用・核不拡散シンポジウムの結果報告
- 分科会報告書（案）について

第7回（4月下旬）

- 分科会報告書（案）について

第8回（5月下旬）

- 分科会報告書のとりまとめ

◎各回の検討の進め方のイメージ（各回2時間半程度の会合を想定）

- 事務局からの説明は必要最小限とし（基本的に資料配布のみ）、委員からのプレゼンテーション及び意見交換を中心とする。具体的には、以下のとおり。
 - ・ 各回のテーマに関する現状と課題について、事務局より説明（10分程度）
 - ・ 分科会委員2名よりpoint of discussion, 問題意識につきプレゼンテーション（20分程度）
 - ・ 意見交換（120分程度）
 - ・ 前回議事録（要約版）の配布

- 原則として、資料は事前に委員に送付する（最低1週間前）。